**調査報告書2-RC**

■既存建築物の概要等

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設計図書等の　有　無 | 意　匠　図 | 有　・　無 | 構　造　図 | 有　・　無 | 構造計算書 | 有　・　無 |
| その他資料（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 建築物概要 | 構造種別 | RC・WRC・その他（　　　　　　　　　　　　造） |
| 構造形式 | X方向 | ラーメン・耐震壁・ブレース | Y方向 | ラーメン・耐震壁・ブレース |
| 階　　数 | 地上　　　階 ・ 地下　　　階 ・ 塔屋　　　階 | 最高の高さ | ｍ |
| 敷地面積 | ㎡ | 建築面積 | 既　存 | ㎡ | 延べ面積 | 既　存 | ㎡ |
|  | ㎡ |  | ㎡ |
| 主要用途 |  |
| 設計者 |  |
| 監理者 |  |
| 施工者 |  |

■RC造外観調査　※必要に応じて調査に伴う写真等を添付すること

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 調　査　結　果 |
| ひび割れ | 構造（せん断・曲げ） | □非常に多い　　□多い　　□やや多い　　□少ない　　□殆ど無し |
| 変形（不同沈下など） | □非常に多い　　□多い　　□やや多い　　□少ない　　□殆ど無し |
| 乾燥収縮 | □非常に多い　　□多い　　□やや多い　　□少ない　　□殆ど無し |
| 劣化 | □非常に多い　　□多い　　□やや多い　　□少ない　　□殆ど無し |
| 鉄筋の腐食状況 | □有　→　□鉄筋の露出　□錆汁発生　□その他（　　　　　　　　　）（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 柱の傾斜及び梁・スラブ等の変形 | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 不同沈下目視により不同沈下なしと判断した場合、レベル測定の必要なし | □有（相対沈下量：　1/ 　　　　程度）　→　□進行性　□非進行性□無 |
| 仕上げ状態 | 外部 | □剥落が著しい　　□剥落がやや見受けられる　　□特に問題なし |
| 内部 | □剥落が著しい　　□剥落がやや見受けられる　　□特に問題なし |
| 既存エキスパンションジョイント | □有→　□所要の間隔が保たれている　　　→　□所要の間隔が保たれていない（層間変形角の1/ 　　　程度）□無 |
| 設計図書と現況の相違箇所 | □有（相違箇所と状況）□無 |
| その他特記事項等・四本柱や塔状建築物　　・ピロティ形式の建築物　・不整形な平面形状など　 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**調査報告書2-S**

■既存建築物の概要等

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設計図書等の　有　無 | 意　匠　図 | 有　・　無 | 構　造　図 | 有　・　無 | 構造計算書 | 有　・　無 |
| その他資料（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 建築物概要 | 構造種別 | S・軽量S・SRC・その他（　　　　　　　　　　　　造） |
| 構造形式 | X方向 | ラーメン・ブレース・ | Y方向 | ラーメン・ブレース・ |
| 階　　数 | 地上　　　階 ・ 地下　　　階 ・ 塔屋　　　階 | 最高の高さ | ｍ |
| 敷地面積 | ㎡ | 建築面積 | 既　存 | ㎡ | 延べ面積 | 既　存 | ㎡ |
|  | ㎡ |  | ㎡ |
| 主要用途 |  |
| 設計者 |  |
| 監理者 |  |
| 施工者 |  |

■S造外観調査　※必要に応じて調査に伴う写真等を添付すること

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 調　査　結　果 |
| 建築物の傾斜 | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 不同沈下目視により不同沈下なしと判断した場合、レベル測定の必要なし | □有（相対沈下量：　1/ 　　　　程度）　→　□進行性　□非進行性□無 |
| 既存エキスパンションジョイント | □有→　□所要の間隔が保たれている　　　→　□所要の間隔が保たれていない（層間変形角の1/ 　　　程度）□無 |
| 柱梁接合部 | ダイヤフラム | 形状･寸法 | 平成12年建設省告示第1464号二号ｲの適、不適等を記入　→（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 板　厚 | □梁フランジ厚より大きい　□梁フランジ厚と同厚　□梁フランジ厚より小さい |
| 溶接継目 | 種類 | □梁端フランジ接合部（　　　　　　溶接） | 寸法 | □支障あり　□支障なし |
| □梁端ウェブ接合部（　　　　　　溶接） | □支障あり　□支障なし |
| □軸組筋かい接合部（　　　　　　溶接） | □支障あり　□支障なし |
| スカラップの有無 | □有（従来型・改良型)→(精度：□良好　□ややノッチあり　□鋭いノッチあり）□無 |
| その他の仕口・継手部 | ボルト接合部 | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　 □無 |
| 溶接部 | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）　　　 □無 |
| 筋かい材の座屈、垂れ下がり | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 設計図書と現況の相違箇所 | □有（相違箇所と状況）□無 |
| その他特記事項・四本柱や塔状建築物　　・ピロティ形式の建築物　・不整形な平面形状など　 |  |

　　**調査報告書2-木造　造**

■既存建築物の概要等

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設計図書等の　有　無 | 意　匠　図 | 有　・　無 | 構　造　図 | 有　・　無 | 構造計算書 | 有　・　無 |
| その他資料（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 建築物概要 | 構造種別 | 在来・枠組壁工法・その他（　　　　　　　　　　） |
| 階　　数 | 地上　　　階 ・ 地下　　　階 ・ 塔屋　　　階 | 最高の高さ | ｍ |
| 敷地面積 | ㎡ | 建築面積 | 既　存 | ㎡ | 延べ面積 | 既　存 | ㎡ |
|  | ㎡ |  | ㎡ |
| 主要用途 |  |
| 設計者 |  |
| 監理者 |  |
| 施工者 |  |

■木造外観調査　※必要に応じて調査に伴う写真等を添付すること

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 調　査　結　果 |
| 基礎 | ひび割れ | □非常に多い　　□多い　　□やや多い　　□少ない　　□殆ど無し |
| 鉄筋の腐食状況 | □有　→　□鉄筋の露出　□錆汁発生　□その他（　　　　　　　　　）（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 建築物の傾斜 | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 不同沈下目視により不同沈下なしと判断した場合、レベル測定の必要なし | □有（相対沈下量：　1/ 　　　　程度）　→　□進行性　□非進行性□無 |
| 筋かい・耐力壁の位置・種別 | □筋交い・耐力壁　有　　　　□種別：（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□筋交い・耐力壁　無 |
| 接合金物（筋交い端部、柱頭・柱脚）の有無・形状 | □有（所見：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）□無 |
| 設計図書と現況の相違箇所 | □有（相違箇所と状況）□無 |
| その他特記事項等腐朽・腐食、蟻害等 |  |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**調査報告書　3**

■既存建築物材料等調査

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| コンクリート |  | 配合計画書等（建設当時のプラントがJIS工場） | 確定・推定 |
| 普通・高強度 | 現場築造杭 | *Fc*（設計基準強度）18・21・24・27・30・（　　　）N/mm2 | 確定・推定 |
| 基　　　礎 | *Fc*（設計基準強度）18・21・24・27・30・（　　　）N/mm2 | 確定・推定 |
| 　 階～ 　階 | *Fc*（設計基準強度）18・21・24・27・30・（　　　）N/mm2 | 確定・推定 |
| 　 階～ 　階 | *Fc*（設計基準強度）18・21・24・27・30・（　　　）N/mm2 | 確定・推定 |
| 　 階～ 　階 | *Fc*（設計基準強度）18・21・24・27・30・（　　　）N/mm2 | 確定・推定 |
| 　 階～ 　階 | *Fc*（設計基準強度）18・21・24・27・30・（　　　）N/mm2 | 確定・推定 |
| 軽量（1種・2種） | 　 階～ 　階 | *Fc*：　　N/mm2 | 設計比重 |  | 確定・推定 |
| PCa・PC・HPCa・（　　） | 　 階～ 　階 | *Fc*：　　N/mm2 | 使用部位 |  | 確定・推定 |
| 鉄　　　筋 | ミルシート（建設当時の鋼材メーカーがJIS製造工場） | 確定・推定 |
| 　　　　　種　　　　　　　類 | 　　径 | 使　用　箇　所 | - |
| 丸鋼 | SR235・295 | φ～　φ |  | 確定・推定 |
| 異形鉄筋 | SD295（A・B） | D ～D |  | 確定・推定 |
| SD345 | D ～D |  | 確定・推定 |
| SD390 | D ～D |  | 確定・推定 |
|  | D ～D |  | 確定・推定 |
| 高強度せん断補強筋 |  |  |  | 確定・推定 |
| 溶接金網（JIS G 3551） |  |  |  | 確定・推定 |
| 鉄　　　骨 | ミルシート（建設当時の鋼材メーカーがJIS製造工場） | 確定・推定 |
| 種　　　　　　類 | 使　用　箇　所 | 現 場 溶 接 | － |
| SS400・SM400・SN400A.B.C・ |  | 有　・　無 | 確定・推定 |
| STKR400・STKR490・ |  | 有　・　無 | 確定・推定 |
| BCR295・BCP235・ |  | 有　・　無 | 確定・推定 |
| SM490A・SN490B.C・ |  | 有　・　無 | 確定・推定 |
| SSC400・ |  | 有　・　無 | 確定・推定 |
|  |  |  |  |
| ボルト | □高力ボルト（F8T・F10T・S10T） | □中ボルト（M　　　　　） | 確定・推定 |
| □アンカーボルト（シングル・ダブル） | □頭付スタッドボルト（φ　　　　） |
| 認定材料 | コンクリート |  | 確定・推定 |
| 鋼材等 |  | 確定・推定 |
| その他 |  | 確定・推定 |

■基礎調査

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 支持地盤 | □表土　□ローム　□砂礫　□その他（　　　　　　　　　）□改良地盤（工法：　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | GL－　　　　m | 確定・推定 |
| 直接基礎 | □べた基礎　□布基礎　□独立基礎 | 確定・推定 | 地耐力　　　　kN/㎡ | 確定・推定 |
| 杭基礎 | 既成杭（建設当時の杭材メーカーがJIS製造工場） | 確定・推定 |
| □RC杭　　□PHC杭（A種・B種・C種）□PRC杭（Ⅰ種・Ⅱ種・Ⅲ種）□SC杭□場所打ちコンクリート杭　□鋼管杭　□H形鋼杭□木杭　□その他（　　　　　　　　　　　　　　） | 確定・推定 |

次の該当する事項を調査してください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**調査報告書　4**

■コンクリートの強度調査等（※写真及び試験成績書等を添付すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | シュミットハンマーによる強度試験 | ・原則3箇所以上・写真及び試験成績書等を添付すること |
|  | コンクリートコアによる圧縮強度試験 | ・原則各階ごと、各施工時期ごとに3本以上・写真及び試験成績書等を添付すること |
|  | コンクリートの中性化深さ試験 |
|  | 塩化物量の検査 |  |

■鉄筋の調査（※写真及び試験成績書等を添付すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | はつり調査により鉄筋の径、本数、加工状態、かぶり等の確認 | ・各階ごとに柱、はり、耐力壁から1箇所以上・鉄筋探査機、X線、レーダー等の使用可能 |
|  | 圧接部分の超音波探傷試験 | ・資格所有者が検査すること・補修・解体時に圧接部が現れるなど、調査可能な場所のみ |
| ■鋼材の調査（※写真及び試験成績書等を添付すること） |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | 鋼材等の材質試験 | ・柱、はり |
|  | 溶接部の検査 | ・資格所有者が検査すること・検査率30％程度外観検査：突合せ溶接部、隅肉溶接部UT検査：完全溶込み溶接部 |

■部材寸法等（※写真を添付すること）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 　　　　　　調　査　項　目 | 　　　　　　　　備　　　　考 |
|  | 部材断面・寸法等の計測 | ・所要構造部材ごとに確認すること |
| ■設計図書と現況の相違箇所 |
| （耐震壁及び開口部の位置，使用部材，用途変更等、具体的に記入すること）  |

■考察及びその他特記事項等

|  |
| --- |
|  |

次の該当する事項を調査してください。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**調査報告書　5**

■コンクリートの強度調査等（※写真及び試験成績書等を添付すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | シュミットハンマーによる強度試験（基礎部含む） | ・各階ごと、各施工時期ごとに3箇所以上・写真及び試験成績書等を添付すること |
|  | コンクリートコアによる圧縮強度試験 | ・各階ごと、各施工時期ごとに3本以上・写真及び試験成績書等を添付すること |
|  | コンクリートの中性化深さ試験 |
|  | 塩化物量の検査 |  |

■鉄筋の調査（※写真及び試験成績書等を添付すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | はつり調査により鉄筋の径、本数、加工状態、かぶり等の確認 | ・各階ごとに柱、はり、耐力壁から3箇所以上・鉄筋探査機、X線、レーダー等の使用可能 |
|  | 圧接部分の超音波探傷試験 | ・資格所有者が検査すること・補修・解体時に圧接部が現れるなど、調査可能な場所のみ |
| ■鋼材の調査（※写真及び試験成績書等を添付すること） |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | 鋼材等の材質試験 | ・柱、はり |
|  | 溶接部の検査 | ・資格所有者が検査すること・検査率各階50％以上外観検査：突合せ溶接部、隅肉溶接部UT検査：完全溶込み溶接部 |

■部材寸法等（※写真を添付すること）

|  |  |
| --- | --- |
| 調　査　項　目 | 備　　　　考 |
|  | 部材断面・寸法等の計測 | ・所要構造部材ごとに確認すること |

■考察及びその他特記事項等

|  |
| --- |
|  |